

Title	『三田社会学』創刊号・第2号目次
Sub Title	
Author	
Publisher	三田社会学会
Publication year	1998
Jtitle	三田社会学 (Mita journal of sociology). No.3 (1998.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-19980000-0072

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

『三田社会学』創刊号（1996年7月）目次

創刊の辞

三田社会学の創刊にあたって	山岸 健	1
特集:社会学はいま、何をなすべきか		
特集に寄せて	永田 えり子	3
現代社会についての「説明」から課題解決についての「提言」をする学問へ	清原 慶子	6
科学技術社会学の研究者から	松本 三和夫	11
社会学の中心と辺境 家族社会学と教育社会学	渡辺 秀樹	14
情景・社会学・1996 一社会学徒の独白	吉原 直樹	23
社会学はいま、何をなすべきか わたし自身の回想的・内省的な模索（戯れ）	川合 隆男	26
社会学者たちの声：アンケートより		30

論文

「閉ざされた人間」の死 ノルベルト・エリアスの「死の社会学」を題材として	澤井 敦	37
宗教文化の調査のためのマルチメディア環境の構築	由谷 裕哉	53
ライフヒストリーにおける記憶と時間	有末 賢	67

書評

書評：松本三和夫『船の科学技術革命と産業社会：イギリスと日本の比較社会学』 同文館、1995年	水越 伸	83
---	------	----

書評&リブライ

書評：千川 剛史「自律的公共性への構造転換に向けてー市民社会の基盤としてのメディア・ネットワーキングの可能性ー」	鈴木 智之	87
リブライ	千川 剛史	88

『三田社会学』第2号（1997年7月）目次

特集Ⅰ:社会学の方法とリアリティ

特集Ⅰ「社会学の方法とリアリティ」に寄せて	鈴木 智之	1
「学問の制度化」の功罪	有末 賢	6
被災地調査の現場をふりかえって	大矢根 淳	10
相互行為秩序を記述してゆくことの意味	浦野 茂	16
二つの相互循環 社会学的認識の基本特性	吉田 民人	22

特集Ⅱ:奥井復太郎の都市論

特集Ⅱ「奥井復太郎の都市論」に寄せて	川合 隆男	37
奥井都市論の形成と構成	藤田 弘夫	38
生活の地平と風景 奥井復太郎の景観論	山岸 健	45
奥井復太郎の生活研究 「都市生活構造」論の原点	原田 勝弘	51
奥井復太郎の都市社会調査と未完の都市研究	川合 隆男	56

論文

P.ブルデューとA.ギデンスとに於ける「実践」と「再生産」		
両者の理論の差異と相補性とを巡って	平林 豊樹	61
英国におけるニュー・レフトとCultural Studiesの関係についての一考察		
メディア研究としてのCultural Studiesの据え直しに向けて	飯塚 浩一	77

新著紹介

竹内治彦編著『グローバリゼーションの社会学』	竹内 治彦	89
大石 裕他著『情報化と地域社会』	大石 裕	91
S.カースルズ/M.J.ミラー共著、関根政美・関根薫訳『国際移民の時代』	関根 政美	92